

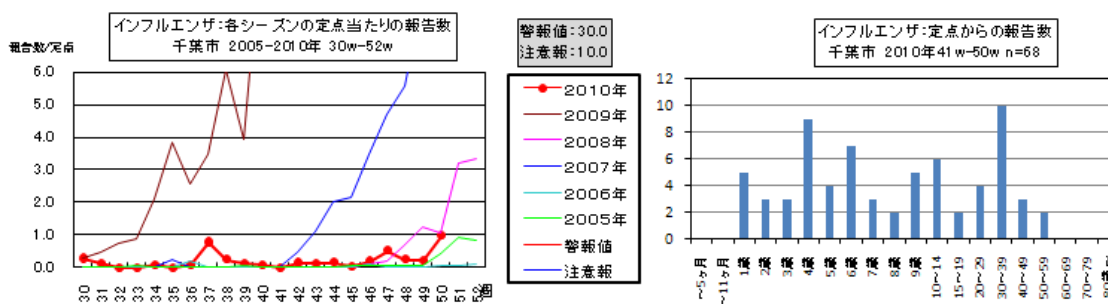
2010-2011 シーズン 千葉大学インフルエンザ情報 第2報 (2010/12/24)

いよいよ本格的なインフルエンザの流行シーズンの始まりです。
感染症予防の原則は、手洗い・うがいの励行、咳エチケットの遵守です。

国立感染症研究所感染症情報センターによると、インフルエンザの定点当たり報告数は2010年第42週以降増加が続いており、第50週の定点当たり報告数は1.41と全国的な流行開始の指標である1.00を初めて上回りました。

直近の2010年第45～49週の5週間のインフルエンザウイルス検出報告件数は、AH3亜型（A香港型）が最多であり、次いでAH1pdm（昨年流行した新型インフルエンザ）、B型の順と報告されています。

千葉市のインフルエンザ定点当たり報告数も0.96と全国的な状況とほぼ同一です（千葉市保健所感染症情報）。皆様には、手洗い・うがい・咳エチケットの励行に努めてください。



<千葉市保健所HPより抜粋>

千葉大学の学生・職員が、新型インフルエンザ・A型インフルエンザ又は

これらのインフルエンザの疑いと診断された場合には、

総合安全衛生管理機構 043-290-2214（ナース室）もしくは

043-290-2219（機構事務室）

info-hsc@office.chiba-u.jp

へご連絡ください。

インフルエンザの予防接種については最寄りの医療機関へお問い合わせください。